

目標達成計画

作成日: R5.12月28日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	○職員を育てる取組み 各職員一人ひとりの知識・経験・技術を踏まえた個別指導が必要。又、業務内容や人間関係等による不平不満をいち早く察知し、働きやすい環境づくりを行うことが必要。	①介護技術レベルの向上と均一化 ②事故件数の減少 ③離職ゼロ	①期初における個人業務目標の設定と確認 ②資格取得や研修受講に向けた支援 ③ミーティング時における研修の実施 ④事業所内介護技術評価制度の実施 ⑤年6回以上の面談実施	12ヶ月
2	26	○チームでつくる介護計画とモニタリング 担当以外の御入居者の介護計画について、共有しきれていない。	①ユニット内で御入居者情報を職員全員が共有 ②御家族、多職種連携によるチームケアの確立 ③その人らしい暮らしの実現	①ミーティング時における、御入居者情報の共有 ②定期的な御家族及び主治医との話し合いの実施 ③ケアプラン一覧ファイル作成	6ヶ月
3	2	○事業所と地域とのつきあい コロナ禍での開設(R2.9月)により、地域や外部との付き合いが出来ていなかった。コロナの5類移行より、事業所内での運営推進会議を実施したがそれ以外での付き合いはまだ希薄である。	①地域における認知症ケアの拠点として、地域の皆様のお役に立てる事業所となる	①運営推進会議の定期開催 ②ささえりあ水前寺との連携強化 ③地域住民や近隣施設との交流機会の創出	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。